

平成29年度 運輸の安全に関する年間計画表

最終改定 平成29年6月15日

アクロス大阪バス株式会社

取 組 項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
安全方針	第1条	全社員は、代表取締役のリーダーシップの下、一丸となって輸送の安全確保に取り組まなければならない。										
	第2条	全社員は、安全意識を高く持ち、知識、技能の向上に努めるとともに、輸送の安全確保を最優先し、業務を遂行しなければならない。										
	第3条	全社員は、道路運送法等の法令関係 及び安全に関する規定を遵守しなければならない。										
	第4条	全社員は、輸送の安全が確保されているかどうか、常に点検するとともに、不備がある場合は、速やかに改善しなければならない。										
	第5条	事故、災害が発生した場合は、人命の救護を第一に行動し、速やかに適切な措置を講じなければならない。										
	第6条	全社員は、安全に関する情報を互いに共有するとともに、新しい情報がある場合は速やかに周知するよう努めなければならない。										
安全目標	①	人身事故0を目指します。					28年度 人身事故	0件	27年度 人身事故	0件		
	②	有責物損事故の30%減を目指します					28年度 物損事故	13件（有責9件、被害4件）	27年度 物損事故	9件（有責4件、被害5件）		
	③	車両故障0を目指します。					28年度 車両故障	0件	27年度 車両故障	0件		
	④						28年度 飲酒出勤	0件	27年度 飲酒出勤	0件		
安全重点施策	①	お客様の安全が何よりも最優先であることを徹底して意識して仕事をします。					②	輸送にかかわる安全情報の収集報告と連絡体制を密にし安全行程を選択します。				
	③	法令順守を徹底し交通社会の手本となるべく邁進します。					④	輸送に対する安全教育を優先して実施し、知的安全を確立します。				
	⑤	輸送の安全確保のための投資を効率的に行います。										
交通安全運動	4/6～4/15					9/21～9/30						
月間安全目標	安全な車間距離確保による防衛運転の確立	交差点付近での老人、子供に対する思いやり運転	だろ <u>う</u> 、かも知れない運転への意識改革で安全確保	薄暮、薄明時における早めの前照灯の点灯と遅めの消灯	夏休み期間中、一般車両の想定外の動向に注意	ベテランこそ、初心に帰って安全運転の実践	駐車場で <u>の</u> 歩行者、車両の動向に注意	高速道路社速90kmの厳守と車間距離確保で安全運行	交差点付近での運転席からの死角の中に危険が潜む	雪道走行、チェーンの早めの装着 遅めの脱着で事故防止	体調管理も安全運転には大事な要素不調の場合は早めに申告	ヒヤリ・ハット情報の再認識で事故回避防衛運転に努める
運行管理者	一般講習（6名） 基礎講習（1名）											
整備管理者	選任前研修（5名）											
適性診断	適齢診断（8名） 初任診断、特別診断（該当者に対して随時実施）											
健康診断			健康診断（1回目）						健康診断（2回目）			
乗務員教育	・交通安全運動重点項目に沿った安全講習	・安全運転心得、接客、マナー研修	・安全運転講習 ・労基法の確認、講習 ・IP無線機本格導入に伴う研修	・健診結果に基づく再診、治療の実施 ・救命救急講習 ・各法令研修	・事故、トラブル事例に基づく全体研修	・交通安全運動重点項目に沿った安全講習	・大阪府無事故・無違反チャレンジコンテスト（10/1～3/31まで）	・長時間労働者に対する個別面接指導	・安全運転講習 ・年末年始時における事故防止運転教育 ・冬季装備研修	・健診結果に基づく再診、治療等の実施 ・冬山チェーン実地研修	・事故、トラブル事例に基づく個別講習 ・車両構造研修	・安全運転講習 ・非常時対応講習
	【年間通じての実施項目】 ・事故、クレーム等惹起者に対する指導、教育 ・ヒヤリハット情報の収集および情報共有 ・ドライブレコーダー分析による安全運転講習 ・新規採用者に対する基本教育（座学研修6時間以上、路上研修20時間以上実施）											